

Tokyo Tobihino Rotary Club

国際ロータリー第2750地区 多摩南グループ 東京飛火野ロータリークラブ



R-I 会長 イアン H.S. ライスリー

会長テーマ

親睦と友愛を礎として、
この日野の地域社会に奉仕・貢献して行こう

2017▶18 Weekly Report vol.30-14



会長 小高 俊明



幹事 栗山 博

ロータリー：
変化をもたらす

2017年10月25日(水)第1368回 於:醍醐寺「白書院」

早朝、総本山智積院参拝、玄関に入ると尼僧様のガイドで本堂にご案内をいただき約1時間、朝の勤行に参座、その後、護摩堂に移り護摩修行に参座した。そのあと、雨も上がり、尼僧様のガイドで、名勝の庭園を拝観、祥雲禅寺のころ造られたものを、延宝2年に修築され、「利休好みの庭」と伝えられ、中国の廬山を模って造られています。特にツツシヤサツキの咲く頃が一段と艶やかと説明いただきました。江戸時代のはじめ、豊臣秀吉が長子 棄丸の菩提を弔うために建立した祥雲寺跡に、玄有僧正により再興された寺です。障壁画は、迫力だけでなく、絢爛豪華に描かれていた。智積院は真言教学の正当な学風を伝え、学山智山と称され多くの学僧を輩出されています。度々の火災で建物焼失するが、いまや真言宗智山派の総本山として教えのよりどころになっています。国宝寺の障壁画は

祥雲禅寺客殿を飾っていたもので、狩野派に対抗し、独自の画風を確立した長谷川等伯の作で、桜図は長谷川久蔵25歳の作で、二本の桜を中心に、八重の花を蒔き散らし、画面は大胆の構図のもと、春爛漫の景を描き出している。久蔵が26歳で亡くなって翌年、父等伯は哀惜の情を振り切り、自己の生命力を画面一杯に傾けて、楓図を描いた。講堂の襖絵は、日本画壇の第一人者、東京芸大名誉教授、田淵俊夫画伯の作品です。拝観後、智積院の金堂正面で記念撮影、お寺さんから記念品をいただく。生きる力のパンフレットに「仏さまをの教えを伝えてくださった弘法大師・興教大師様が私たちを見守っています。ご先祖様、亡き人が私たちを見守っています、仏さまの生きる力とともに私たちは生きています。」そして、「仏さまと深いご縁を結びましょう。」と、ご教導いただきます。





寺を後に途中で朝食。ホテルに戻り、荷造りしバスで醍醐寺の向かう。到着時には青空が広がり、屋外の観光日和となる。平成6年12月に世界文化遺産に登録された醍醐寺は、貞観16年(874年)聖宝理源大師が堂宇を建立して、准胝、如意輪の両観音像を安置したのに始まる、そののち醍醐・朱雀・村上三帝のご信仰が寄せられ、延喜7年(907)には、醍醐天皇の御願による薬師堂が建立され、五大堂も落成するに至って上醍醐の伽藍が完成した。それに引き続くように下醍醐の地に伽藍の建立が計画され、延長4年(926)に釈迦堂が、ついで五大大塔の完成し、山の陣容が整う。その後は真言宗小野流の中心寺院として、仏教史において重要な地位を占めている。永久3年(1115)に三宝院が建立され。皇室の庇護を得たことにより繁栄を重ねるも、応仁の乱の兵火で下醍醐の五重塔を残し消失、上醍醐も荒廃した。慶長3年(1598)の秀吉の花見を契機として、豊臣家の援助の下に、義演僧正が再興し、徳川家の外護(げご)を得て、さらに家康から寺領の寄進を得、その後今日に見る伽藍が整えられた。多くの建物が国宝、重文に指定され、彫刻・絵画等、密教美術の宝庫、10数万点に及ぶ寺宝を所蔵している。(黒川会員制作ガイドブックより)ここでも、黒川会員のご配慮で、経験豊かな僧侶にガイドしていただく。三宝院の庭園は池を隔てた先が仏界とご説明を受けたあと、白書院に向かい、しばし休憩後、仲田猯下(パストガバナー)がお見えになり、200万坪の敷地に数多くの国宝・重文の建物が並び、絵画、仏像も国宝が多く、庭園を含め一部を見ていただきます。とご挨拶をいただきました。特段の待遇は黒川会員の凶らいなしではありえず、お茶の接待を受けただけでなく、秀吉公の愛用したと言われる金天目(抹茶茶碗)を特段の凶らいで手に持たせていただき、拝観させていただく。三宝院庭園を拝観。この庭園は豊臣秀吉が、「醍醐の花見」に際し自らが基本設計した庭で、今も当時の華やかな雰囲気伝えてあります。庭全体を曼荼羅と観じ、池の向こうは仏の世界。中心に位置する「藤戸石」は、阿弥陀三尊を表している。歴代の武将に引き継がれたことから、「天下の名石」といわれる。中島の五葉松は樹齢500年、手前の白砂は長江を模し中に並んだ石が流れを表している。続けて絵画、仏像の国宝を見学し、再び白書院に戻り、例会開催。

■司会 親睦委員会 黒川高德副委員長

皆さん庭園はいかがでしたか。「葦酒山門に入るを許さず」といわれますが、本日は親睦旅行でもあり、ビールをいただきます。

しょう。皆さん庭園と昼食後境内を拝観します。

■開会点鐘 会長 小高 俊明

■会長挨拶 会長 小高 俊明

黒川さんのご配慮で大変内容の充実した素晴らしい親睦旅行ができました。ただいまは、歴史的な文化財を手にとりて見ることができました。食事の後は醍醐寺さんの境内の見学です。ゆっくり歴史の詰まった建造物__仏像、庭園を拝観したいと思います。

■幹事報告はありません。(黒川高德副委員長代行)

■閉会点鐘 会長 小高 俊明

懇親会、最初に濱田会員より、曾て、米山奨学生と醍醐寺を訪れ僧坊に泊まり拝観したことがありました。当時も仲田パストガバナーには大変お世話になりました。と往事を振り返り報告があり、仲田猯下も再びお見えいただき、この食事は「箱然」の精進料理です。とご案内いただき、渡邊会員の「カンパイ」で、昼食会が始まり、金杯の感触、素晴らしい庭園、長谷川等伯の絵、高僧の書等の感想で会食を楽しむ。

■閉会点鐘 会長 小高 俊明

閉会后、境内のあの有名な、三宝院前のしだれ桜(樹勢が弱り大学教授のアドバイスで再び勢いを取り戻している)を見学、山門を出、桐の門と菊の門は並ぶ唐門を見学、左右2体の仁王が並ぶ仁王門をくぐり、国宝の壮健当時の姿を残す五重塔を見学して、上醍醐へ続く境内を散策。観光スポットの「弁天池」からの弁天堂を見学、更に奥に進み、奥からの清流の滝を見学して帰路に着き。国宝の金堂で国宝の薬師如来を拝観、最後に、寺院内で見られない国宝の薬師如来像・重文の如意輪観音蔵、書画、仏像など数々が収められた霊宝館を見学した。

出席報告	総数	出席	MU前	MU後	欠席	出席率
第1367回	26	20	3	-	3	88.46%
第1365回	26	22	2	0	2	92.3%

ニコニコBOX	本日 0円	累計559,636円
	本年度目標額1,200,000円	達成率46.6%

※今週のメイクアップ 長谷川さん 谷さん 栗山さん
 ※先々週の後メイクアップ なし

★トピックス

1.10月22日衆議院選挙投票。

2.10月28日、台風22号本州南岸を通過、各地に風雨の被害でる。